

札幌リハビリテーション専門学校

学校関係者評価報告書

(平成 30 年)

学校法人西野学園

札幌リハビリテーション専門学校

平成 30 年 10 月
札幌リハビリテーション専門学校
校長 村田尋如

学校関係者評価について（報告）

本校におきましては、「職業実践専門課程」の充実を目指し、平成 24 年度から、教職員による「自己評価」を実施し、平成 26 年度から、「自己評価」結果を踏まえた「学校関係者評価」を実施しています。

「職業実践専門課程」としての充実を図る「学校関係者評価」の実施にあたっては、本校の卒業生や関係企業等の方々からなる学校関係者評価委員会を組織し、会議を開催し、本校の「自己評価」結果をもとに、多様な観点から、多くの貴重なご意見・ご要望をいただいております。

本校といたしましては、学校関係者評価委員会で評価して頂いた結果に対して、速やかに改善策を構築し、広く社会のニーズに適した学校運営や教育課程の編成を組織的・継続的に取り組んでいく所存でありますとともに、その概要について本学園のホームページ上に公開し、今後ともより良い学校運営、教育活動を目指し、学校関係者の方々との連携・協力をはかり、教職員一同尽力してまいりたいと考えておりますので、今後とも皆さまのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「学校関係者評価」につきまして、以下の通り報告いたします。

記

1 学校関係者評価委員 名簿

氏 名	所 属
梶山 優洋	元北海道千歳高等学校校長
杉原 俊一	医療法人秀友会 札幌秀友会病院 公益社団法人 北海道理学療法士会 常任理事
吉岡 英章	医療法人社団憲仁会 牧田病院 公益社団法人 北海道作業療法士会 副会長
佐藤 喜亮	社会医療法人社団三草会 クラーク病院
高松 尚徳	医療法人清仁会 北海道内科リウマチ科病院

2 学校関係者評価委員会開催日時

第 1 回 平成 30 年 6 月 21 日（木） 15：00～16：30

第 2 回 平成 30 年 9 月 20 日（木） 15：00～16：30

（第 3 回は平成 31 年 2 月ごろを予定）

3 学校関係者評価実施の流れ

平成 30 年 4 月 平成 29 年度の教育活動等に関する「自己評価」を実施

平成 30 年 6 月 平成 30 年度第 1 回学校関係者評価委員会を開催し、「自己評価」に基づく「学校関係者評価」を実施

平成 30 年 9 月 平成 30 年度第 2 回学校関係者評価委員会を開催し、「学校関係者評価」の内容を確定

平成 30 年 10 月 「平成 29 年度学校関係者評価」を HP に公開

平成29年度 自己点検評価項目		平成27年度自己評価(平均)	平成28年度自己評価(平均)	平成29年度自己評価(平均)	学校関係者評価委員会による評価
I 教育理念・目標	1 理念・目標・育成人材像は定められているか。	4.4	3.9	4.4	・学園の理念・教育目標は明確・適切に定められている。今後は、N's委員会の取り組みや成果を積極的に発信することで、より広く・深く浸透していくものと期待される。
	2 社会のニーズ等を踏まえた学園の将来構想を抱いているか。	3.6	3.7	3.9	
	3 理念・目標・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか。	3.5	3.5	3.9	
II 学校運営	4 目標等に沿った運営方針が策定されているか。	3.9	3.6	4.1	・運営組織を明確にしていることで、有効かつ機能的な運営がなされており、前年度より改善傾向にあるが、自己評価は低く、業務の効率化等さらに改善する必要がある。 ・学園本部と各校の連携整備、HP等による協働体制は評価できる。各校の効果的な取り組みをどのように共有するか、情報システムのさらなる活用・工夫が求められる。
	5 運営組織は明確にされ、有効に機能しているか。	3.6	3.1	3.5	
	6 情報システム等による業務の効率化が図られているか。	3.5	3.1	3.2	
	7 学校内総合力を高めるための連携と協働体制の確立が図られているか。	3.7	3.1	3.4	
	8 教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	3.8	3.5	3.8	
III 教育活動	9 教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3.9	4.1	4.3	・国試合格率が高水準に回復したのは教育活動の成果と評価できる。チーム学習や教員がチームリーダーの会議に加わる等、学習方法を工夫したことも功を奏している。ただし、既卒者の合格率が低いので、対応を検討する必要がある。 ・今後、ルーブリック評価の研究・活用を進め、学生の達成目標を細かく提示・指導することで、学力向上に資することを期待したい。 ・教員の能力開発のための研修が効果的に行われていることへの自己分析評価が低い、N'sシート委員会とFD・SD推進室の連携による新たな研修の在り方に期待したい。 ・臨床実習制度が2020年度入学生から変更されることが確認されていることから、土会、協会や養成校間の連携推進が求められる。
	10 学校行事の適切な企画、円滑な運営がなされているか。	4.2	3.9	4.5	
	11 授業規律を確保し、統一した指導体制のもとで教育活動が行われているか。	3.6	3.7	3.8	
	12 関連分野の企業、関連施設等、業界団体等の連携により、教育課程の編成や点検等が行われているか。	3.6	4.2	4.3	
	13 成績評価、単位認定の基準は明確になっているか。	4.1	4.1	4.2	
	14 授業評価の実施等、評価体制があるか。	4.6	4.3	4.2	
	15 職員の能力開発のための研修が行われているか。	3.4	3.2	3.4	
	16 クラス担任と教科担任との連携を密にし、学生の実態に合った指導法の確立に努めているか。	3.8	4.3	4.3	
IV 学修成果	17 就職率の向上は図られているか。	4.0	4.4	4.4	・全体として休学・退学者数は低減傾向にあり、課題を抱える学生の個別対応等が奏功しているのは評価できる。引き続き努力を傾注してほしい。
	18 退学率の低減は図られているか。	3.8	3.4	4.3	
	19 卒業生・在校生の社会的な活動を把握し、評価しているか。	3.4	3.6	3.8	
V 学生支援	20 学生相談に関する体制は活用されているか。	3.6	4.0	4.2	・学生サポートセンターの充実により、学生の学習、生活、経済面での支援体制が整ってきており、今後も引き続き支援への努力が望まれる。学生募集の際のアピール・ポイントとしても有効であろう。 ・臨床実習は、学生が自己を客観的に捉え、自己理解、自己実現を進める好機でもあるので、セミナー等を通じて確実に指導することが必要であり、その指導方法の検討・確立が求められる。
	21 学生の経済的支援体制は整備されているか。	3.9	3.8	4.6	
	22 保護者と適切に連携しているか。	3.8	4.2	4.4	
	23 卒業生への支援体制は整備されているか。	3.7	3.8	4.2	
	24 ロングホームルームなどを効果的に活用し、職業観・勤労観の育成に努めているか。	3.7	4.1	4.5	
	25 社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3.6	3.4	3.5	
	26 学生が自己理解、自己啓発、自己実現をするための方策が整備されているか。	3.8	3.5	3.8	
VI 教育環境	27 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	3.6	3.2	2.9	・施設の新老朽化に対しては、適時点検して補修・改善する必要がある。 ・図書館は、ICTを活用した有効活用が求められるが、医学校の図書施設が充実していることもあり、場合によっては、そちらの活用を推奨することがあってもよいのではないかと。 ・防災については、最近の災害を教訓にし、周辺地域のハザードマップや避難場所の把握が必要である。
	28 図書室利用の活性化が図られているか。	3.1	2.8	3.3	
	29 防災に対する体制は整備されているか。	3.6	3.8	4.2	
VII 学生募集	30 学生の募集は適正に行われているか。	4.3	3.7	4.1	・募集活動は積極的に進められていて評価できる。しかし、出願者・入学者の急な増加は見込まれないことから、引き続き当校の魅力を伝え、高校訪問等の基本的で地道な活動を続ける必要がある。 ・経済的にも魅力ある職種であることを訴えるため、関連団体と連携した活動も必要である。
	31 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3.9	3.6	3.8	
VIII 財務	32 中長期的に学校の財政基盤は安定していると言えるか。	3.4	3.3	3.1	・少子化等の影響で、入学者数は減少傾向にあるが、安定した財政基盤づくりに努めてほしい。
	33 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3.9	3.7	3.2	
IX 法令等の遵守	34 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4.3	4.3	3.8	・コンプライアンスに関しては、自己評価も下がっており、法令遵守に対してより一層心がけて取り組む必要がある。N's委員会の取り組みにも期待したい。
	35 個人情報の保護のための対策がとられているか。	4.0	4.2	3.9	
X 社会貢献等	36 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	3.6	4.0	4.2	・ボランティア活動など、社会・地域貢献が積極的に行われており、今後もさらに組織的な活動を期待したい。
	37 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	4.1	4.6	4.8	